

個別指導の教材紹介

教材名	単語ビンゴ	
教材の概要	<p>ビンゴのマスの描いてある25種類のイラストを見て、子どもと担当教員で順番に単語名（果物・野菜・動物など）を言う。ヒントカードを用意し、分からない言葉があったときには見て答えられるようにする。</p>	
指導事例	対象児童の実態	語彙が少なく、状況や自分の気持ちを言葉にするのが苦手。
	指導のねらい (自立活動の領域)	<p>コミュニケーション</p> <p>(3) 言語の形成と活用に関すること</p>
	指導経過	<p>絵カードを使って、語彙の確認を行うと、いくつか単語名を答えられない物があるという実態であった。毎回イラストの位置を変えて、何度か単語ビンゴを行った。最初のうちはヒントカードを見ることも多くあった。続けていくことで単語名が定着し、ヒントカードを見ないで言えるようになった。大分定着してきたため、クロスワードパズルに移行し、様々な種類の語彙を増やせるようにした。語彙が増えることにより、出来事の話なども自分から話すようになってきた。</p>
教材に対する評価 使用してみた感想 おすすめポイントなど	<p>ゲーム形式にすることで、子どもも楽しんで取り組むことができる。また、ビンゴマスの位置を変えることで、飽きずに何度も取り組むことができる。簡単に言える単語も含めることで、自信をもって取り組んでいた。</p>	

(布田小) 学校 氏名 _____

個別指導の教材紹介

教材名		頑張りカード（シール）
教材の概要		作業中に「お話しします。」の合図で聞く姿勢になる「話の聞き方ゲーム」で使用。作業をやめて話を聞く姿勢になればシールを頑張りカードに貼る。児童が興味を持っている宇宙の星のシールを作成。
指導事例	対象児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動に苦手さがみられる。 ・気持ちを調整することができない。 ・文字を書くことに苦手さがある。
	指導のねらい （自立活動の領域）	2 心理的な安定 （2）状況の理解と変化への対応に関すること 6 コミュニケーション （2）言語の受容と表出に関すること
	指導経過	話の聞き方について、コミュニケーションの指導の中で「お話ししますゲーム」を行った。頑張りカードを使ったことで、「話をします。」の合図で姿勢を戻し、聞く姿勢になることができるようになった。在籍学級でも「お話しします」を合図にさせていただいた。頑張りカードを次回の振り返りでも使い、在籍学級で聞く姿勢ができたかを確認し、出来たらシールを貼ることを繰り返し行った。在籍学級の担任にも確認し、できていることを確認した。頑張りカードを使わなくても戻れるようになってきた。指導の中で「話をします。」を合図に聞く姿勢に戻れるようになっている。
教材に対する評価 使用してみたの感想 おすすめポイントなど		過去に家庭でシールを使ったことがあり、効果があったことから、指導でも使用した。興味のあるものをシールにして行うことで、動機付けの効果があった。「お話しします」を合図にしてもらえるように学級担任にも協力していただいた。

（布田小）学校 氏名 _____

個別指導の教材紹介

教材名		将棋
教材の概要		2人で行うボードゲーム。今回取り上げる使い方は「本将棋」だが、「挟み将棋」や「崩し将棋」、「回り将棋」など複数でできる遊び方もあり、小集団活動にも利用できる。
指導事例	対象児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> • 他者意識が低いため、相手の気持ちや意図を考えることが苦手。 • 衝動性が高く、状況に合わない行動をとってしまう。 • 本将棋のルール（駒の動かし方）は理解している。
	指導のねらい (自立活動の領域)	3. 人間関係の形成 (2) 他者の意図や感情の理解 (3) 自己の理解と行動の調整
	指導経過	<p>取り組み始めは、衝動性の高さから不用意な手が多く簡単に駒を取られてしまうことが多かった。「動かす駒を、指を離さなければやり直してよい」とルールにすることで、行動の前に1度止って考えることができるようになってきた。自分が優位にすすめるために相手がどう動いてくるか考える必要があるため、相手の立場に立つ練習や状況把握、予測する力を養う練習になっている。</p> <p>【その後の取り組み】</p> <p>生活の振り返りで、「1度立ち止まって考えた場面」をテーマに、生活場面でスキルを活用した場면을振り返ったり、活用できそうな場면을伝え見通しがもてるよう指導したりした。</p>
教材に対する評価 使用してみたの感想 おすすめポイントなど		勝ち負けを調整しやすく、児童の思考傾向も見取りやすい。勝敗がつくまで時間がかかるので、盤面を記録し、定期的に取り組むようにしている。(時間での切り替えも狙うことができる。)

(布田小) 学校 氏名 _____

個別指導の教材紹介

教材名	思考ツール（フィッシュボーン図、イメージマップ）	
教材の概要	<p>「フィッシュボーン図（お魚ボーン図）」</p> <p>一つの課題や物事に対し、多面的に考えることに役立つ。<u>調べ学習</u>や<u>まとめ</u>に活用できる。</p> <p>「イメージマップ」</p> <p>一つの事柄から連想し、言葉をつないでいく。<u>詩を作ったり</u>、<u>アイディアを生み出したり</u>するのに活用できる。</p>	
指導事例	対象児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことが苦手で、文章で表現する力も低く、語彙も少ない。 ・文章を読んで理解することが苦手。 ・意欲は高くないが、最後までやり遂げようとする姿勢がある。
	指導のねらい （自立活動の領域）	<p>6. コミュニケーション</p> <p>（3）言語の形成と活用に関すること</p>
	指導経過	<p>調べ学習や詩の創作活動をする際に、「どのように調べたことをまとめるのか」、「どのようにアイディアを考え出すのか」を分かりやすくするために使用した。</p>
教材に対する評価 使用してみたの感想 おすすめポイントなど	<p>①単にメモをするのとは違い、使用する場面を選ぶことで、<u>自分の思考を丁寧に整理することができる</u>。②考えが整理されているので、<u>表現するときに活用しやすい</u>。</p>	

（ 布田小 ） 学校 氏名 _____